

K&W

第58号

神奈川と溶接KNG WES 一般社団法人
神奈川県溶接協会〒210-0001 川崎市川崎区本町2-11-19
TEL 044-233-8367 fax 044-246-5265
E-mail:wes-kana@aioros.ocn.ne.jp
web:http://www.jwes-kanagawa.jp

写真は3月25日 皇居まえにて撮影

平成29年度（第63回）全国溶接技術競技会 結果

被覆アーク溶接の部 最優秀賞 全国第1位！ 根崎 弘崇さん
炭酸ガスアーク溶接の部 特別優秀賞 全国第2位！ 岩崎 拳也さん

平成29年度（第63回）全国溶接技術競技会は、平成29年10月22日(日)神奈川県横浜市磯子区(株)IHI横浜事業所にて開催され、その結果がこの1月に一般社団法人日本溶接協会より発表されました。

神奈川県代表選手5名は入賞を果たし、その中でも、被覆アーク溶接の部の根崎弘崇さん（(株)IHI横浜工場）は全国1位の最優秀賞。炭酸ガスアーク溶接の部の岩崎拳也さん（(株)IHI横浜工場）は全国2位の特別優秀賞を獲得するという栄誉に輝きました。

また、被覆アーク溶接の部の喜屋武秀人さん（(株)IHI横浜工場）は第7位優秀賞、鈴木耕久さん（東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎）は第9位優秀賞に入賞。炭酸ガスアーク溶接の部の中神貴紘さん（東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所）は、第15位優良賞と健闘されました。今回優勝、準優勝となったお二人に喜びの声をお聞きました。

***今の気持ちを率直に…**根崎さんは、「素直に嬉しい！平成26年にボイラー溶接でも優勝を果たしてはいるが、やっぱり“優勝”は、良いものだ」と。また、若干20歳の岩崎さんは、「初出場でもあり、また県大会では3位であったが、全国2位となり、先輩からも惜しかったな、と声を掛けられたりなどやはり素直に嬉しいです」。

***この職業に就いた理由は…**根崎さん「大きなものを造りたかった！」。岩崎さん「高校の先輩の背中を見て」。

***子供のころになりたかったもの…**根崎さん「忍者戦隊カクレンジャー。特にクールなブルーになりたかった」と。岩崎さんは、「幼少の頃より野球をやり、ポジションは花形のピッチャーやサード。高校ではバレーをしていた」とのこと。

***そんなお二人の休日の過ごし方は…**根崎さん「1歳になる子供がいて、もっぱら買い物など家族サービスです」。素敵な奥様と可愛いお子様があの競技会の大雨の中、応援にいらしていたのも大きな力になったかと思います。岩崎さん「バスケットボールのチームにも所属しているので、練習。また、独身寮ではゲーム“荒野行動”にはまっている」。

***現在(一社)日本溶接協会でも力を入れている“溶接女子”については…**お二人とも「悪いことではない、とは思いつつも、現状なかなか難しいことも多く、どんどん増えていくとは思えない」。

***最後に仕事をするうえで大切にしていること…**根崎さん「探求心とやる気」と即答！。岩崎さん「1パスも無駄にしない！無心に集中力を持って！」。

インタビューを通して、お二人の自然体の暖かい人柄にふれ和やかな雰囲気の中で時を過ごすことができました。

平成30年度競技会は、10月に山口県山口市のポリテクセンターで開催されます。両部門でのダブル優勝の期待が膨らみます。



岩崎さん

根崎さん

平成30年度(第61回)神奈川県溶接技術コンクール 結果速報!

平成30年度(第61回)神奈川県溶接技術コンクールは下記の通り開催されました。
審査は、外観試験、X線透過試験、曲げ試験について行い、下記のように入賞者が決定しました。
今年10月22日に山口県山口市のポリテクセンター山口にて開催される全国大会へは、次の4名の方々が出場いたします。

《被覆アーク溶接の部》 1位:馬原 涼太さん、 2位:喜屋武 秀人さん、
《炭酸ガスアーク溶接の部》 1位:東迎 晋太郎さん、 2位:西 翔馬さん

- ・主 催 神奈川県、一般社団法人神奈川県溶接協会
- ・開催期日 平成30年2月2日(金)
- ・会 場 (一財)日本溶接技術センター
- ・参加者 被覆アーク溶接の部 9名、炭酸ガスアーク溶接の部 27名 合計参加者36名

平成30年度 神奈川県知事賞・神奈川県溶接協会長賞(優秀賞)

被覆アーク溶接の部

団体賞:東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所 / 個人賞 優勝:馬原 涼太

炭酸ガスアーク溶接の部

団体賞:住友重機械マリンエンジニアリング(株) / 個人賞 優勝:東迎 晋太郎

入賞者(得点800点満点)

《被覆アーク溶接》1位~2位は優秀賞です(760点以上)、3位~9位は優良賞(720点以上)です。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------|
| 1位:馬原 涼太/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所 | 2位:喜屋武 秀人/株IHI横浜工場 |
| 3位:秋山 了亮/神鋼溶接サービス(株) | 4位:東 龍哉/JFEエンジニアリング(株) |
| 5位:今村 圭稀/富士電機(株) | 6位:中島 くる実/株IHI横浜工場 |
| 7位:富樫 優二/神鋼溶接サービス(株) | 8位:吉村 佑太/JFEエンジニアリング(株) |
| 9位:佐藤 健一/神鋼溶接サービス(株) | |

《炭酸ガスアーク溶接》1位~4位は優秀賞です(760点以上)、5位~17位は優良賞(720点以上)です。

- | | |
|-------------------------------|-------------------------------|
| 1位:東迎 晋太郎/住友重機械マリンエンジニアリング(株) | 2位:西 翔馬/株IHI横浜工場、 |
| 3位:藤田 智大/富士電機(株) | 4位:比嘉 大貴/株IHI横浜工場 |
| 5位:徳永 雄太/東芝エネルギーシステムズ(株)浜川崎工場 | 6位:中神 貴紘/東芝エネルギーシステムズ(株)京浜事業所 |
| 7位:伴 隆一郎/三菱重工業(株)防衛・宇宙セグメント | 8位:工藤 将太/住友重機械マリンエンジニアリング(株) |
| 9位:外山 智大/ジャパンマリンユナイテッド(株) | 10位:濱野 慎平/三菱重工業(株)防衛・宇宙セグメント |
| 11位:平 広大/住友重機械マリンエンジニアリング(株) | 12位:三橋 幸吉/三菱重工業(株)防衛・宇宙セグメント |
| 13位:平松 秀基/JFEエンジニアリング(株) | 14位:伊藤 文孝/神鋼溶接サービス(株) |
| 15位:境田 穰/神鋼溶接サービス(株) | 16位:磯 旬紀/ジャパンマリンユナイテッド(株) |
| 17位:古家 駿/神鋼溶接サービス(株) | (敬称略) |

なお、表彰式は平成30年5月25日(金) 定時総会後(一財)日本溶接技術センターで行われる予定です。

今大会は、事前にアーク出しを行えるよう会場の(一財)日本溶接技術センターの協力を得て、初めて被覆アーク溶接の会場のみ前日に選手へ開放しました。その成果か、被覆アーク溶接の部では、参加者9名全員入賞となりました。

また6位の株IHI中島くる実さんは、第7回神奈川県高校生溶接技術コンクールで優勝し、関東甲信越高校生コンクールでも優秀賞を獲得した選手です。今秋10回目を迎える神奈川県の高校生対象のコンクールですが、少しずつではありますが、高校生の皆さんにも溶接の魅力を感じ取ってもらえるようになってきたのではないかと、嬉しく思うところです。皆様方の暖かいご支援に感謝するところです。

《岩井専務理事 退職のご挨拶》

小生、平成29年12月を持ちまして神奈川県溶接協会を退職しました。

思えば昭和46年の1月アルバイトで入社してその後46年6月1日に職員として採用され46年間勤めてまいりました。10月には全国溶接技術競技会を開催しました。

12月には創立60周年記念も開催することが出来ました。皆様には大変お世話になりました。総じてとても良いところでありました。

小生、今後毎日が日曜日ですが、心置きなく過ごしていくことができるものと思っています。皆様には心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。



一般社団法人神奈川県溶接協会 創立60周年記念式典開催

平成29年12月16日(土) 快晴の中、山下公園近くのメルパルク横浜において、100名あまりの参加者を迎え、創立60周年記念式典・祝賀会が開催されました。昭和32年3月9日に(株)日本溶接協会の神奈川県支部として設立総会を開催して以来60年。平成21年4月には、(一社)神奈川県溶接協会となり10年目を迎えました。



挨拶をする 志賀会長



祝賀会でのサクソとギターの演奏

《一般社団法人神奈川県溶接協会 設立60周年を迎えて》

(一社)神奈川県溶接協会 会長 志賀 啓介

神奈川県溶接協会会員の皆様、ご来賓の皆様、東部地区溶接協会連絡会そして溶協交友会の皆様には、日頃より本協会の活動に際して格別のご支援とご高配を賜りお礼申し上げます。

溶接協会では、ご存じの通り皆様との溶接を通じた交流を大切にし、溶接に関する技術・技能の向上や溶接技能評価試験を通じた溶接構造物神奈川県の製造における安全・安心の確保に貢献し、地域産業の発展に務めることを目的として活動を行っております。事業の中でも企業の皆様に参加頂いている来年で61回目を迎える歴史ある「神奈川県溶接コンクール」また、この神奈川県溶接コンクールが礎となります「神奈川県高校生溶接コンクール」、さらには「関東甲信越高校生溶接コンクール」も9年連続の開催となり、協会の活動として定着してまいりました。

また今年度は、神奈川県溶接協会にとって記念すべき年となり、その一つは、平成13年以来となります神奈川開催の「全国溶接技術競技会」を平成29年10月22日に(株)IHI横浜事業所さんに競技会場をご提供頂き開催し、さらに、本日の神奈川県溶接協会の創立60周年記念式典を迎えることができた素晴らしい年となりました。神奈川での全国大会が滞りなく成功裏に終えることができたのは、今日まで神奈川県溶接協会をご支援・ご指導頂いた関係者の皆様、そして、神奈川県溶接協会のOBの方々との結束力によるものと痛感しています。本当にありがとうございました。

最後になりますが、皆様方との更なる繋がり強化、皆様方のご健勝、そしてものづくり神奈川の今後益々の発展を祈念して私からの挨拶とさせていただきます。

式典では、ご来賓の神奈川県産業労働局産業部産業振興課長の山崎博様よりお祝いのお言葉を頂戴した他、一般社団法人日本溶接協会の水沼渉専務理事より、全国2位の受験者を有する当協会へねぎらいのお言葉を頂きました。また、検定試験等で大変お世話になっている東部地区溶接技術検定委員会を代表して中込忠男委員長より、ますますの協力を惜しまない旨の激励を頂きました。

その後、永年にわたり神奈川県溶接技術コンクールの審査副委員長を担っていただき、また、神奈川県における溶接の発展にご尽力を頂きました、金井昭男様へ感謝の気持ちと共に貢献賞として記念品を贈呈しました。そして、平成29年12月末をもって46年間の溶接協会での仕事を終えた岩井専務理事へ、同じく貢献賞の記念品を授与しました。

続いて『60年の歩み』を懐かしいスライド写真の数々をひもときながら、岩井専務理事より行われました。

参加者の皆様からは、あらためて神奈川県溶接協会の歴史と共にその活動の意義を感じ取れたと、温かいお言葉を頂戴しました。

平成24年11月には、神奈川県溶接協会役員、委員、講師とそのOBによる『溶協校友会』が設立され、様々な場面で協会の活動に協力をいただいておりますが、その活動報告が溶協校友会の相原正公会長より行われ式典は閉会となりました。

祝賀会は、パーティー会場へ場所を移し、コンクールなどでご協力を頂いている産報出版(株)様よりご祝辞を頂戴し、また10月の全国溶接技術競技会で会場をご提供いただいた(株)IHI横浜事業所所長の片平不二雄様より、活力あふれるお言葉と共に(株)IHI特製幻の!?全国溶接技術競技会ラベルの日本酒をふるまって頂き、その後の(一財)日本溶接技術センター理事長の黒川剛志様の乾杯で和やかな祝賀会の開始となりました。

歓談の中、サクソフォン奏者のCHIHOさんとギターのセッションが繰り広げられ、会場に明るく華が添えられました。

参加者の皆様に寛いでいただき、お食事、お酒などが進む中、お楽しみ抽選会が行われました。担当が用意した景品の数々は、歓声(一部落胆!?)の中、次々と当選者の手に渡されていき、閉会となりました。

このように式典、祝賀会を開催できるのも会員の皆様をはじめ、日頃協会の活動にご協力をお願いしております皆様方のお蔭と、あらためて感謝の気持ちを抱くところです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

見学会 開催

平成30年3月2日(金)、39名の参加者を得て恒例の見学会を開催いたしました。今年度の見学先は、神奈川県相模原市の三菱重工業(株)相模原製作所・三菱重工エンジン&ターボチャージャ(株)と藤沢市のいすゞ自動車(株)藤沢工場・いすゞプラザの2か所でした。

三菱重工の工場内では、音楽が流れ、様々なポスターや作業者の写真にユーモアを交えて掲載するなど、繊細ではあるが意味単調になりがちな作業をする社員の意識を高める働きかけをするなど、作業者に配慮した環境を提供し、ひいては製品の完成度をより高める取り組みをしていたのが印象的でした。また、旧式(ゴジラ映画で活躍した60式)ではあるが本物の戦車を間近にし、触れることができたことは、参加者にとって良い思い出になったことと思います。また、日頃は工場に従事している、チャーミングな制服の『おもてなし隊』の案内も素敵でした。

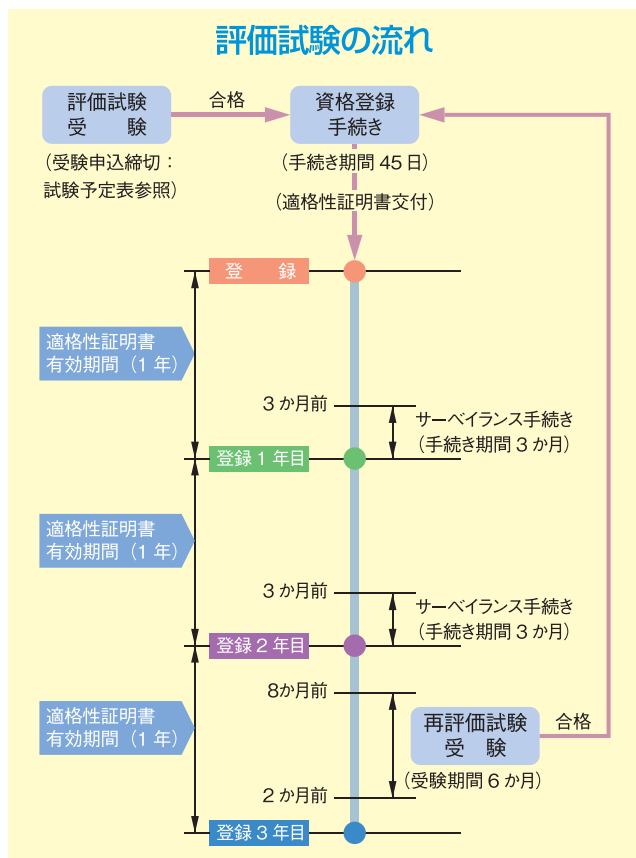
昼食後は、2017年4月にオープンしたばかりの『いすゞプラザ』を見学しました。実際に手で触れながら、またゲームをしながら、自動車の仕組みを感じることができているコーナーなどがあり、大人のみならず子供たちにも理解しやすく工夫がなされていました。また、とある街の24時間を再現した日本最大級のジオラマは、一見の価値があるものでした。その後、藤沢工場へ移動し、様々なタイプのトラックが2時間に1台というペースで次々と組み立てられていく過程を見学しました。溶接ロボットの巨大なアームが、狭い運転台に侵入!?し、次々と溶接をしていく様子は、まるで映画のワンシーンを見ているようでした。また作業ラインにおいては、熟練者と新人がペアになり作業し、またその分担が他の作業者にも一目で分かり、トラブル対応などにも即応できる体制が取られていました。

昨今セキュリティの関係などでなかなか見学ができない工場でもあり、参加者の皆様方には満足していただけた一日になったとの感想を頂くことが出来ました。



いすゞ自動車 藤沢工場前にて

評価試験情報



半自動溶接 実技試験要領

	SA-2F	SA-2V
ワイヤ・シールドガス	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤはJIS Z 3312, YGW12, 1.2φ (小電流用) シールドガスは炭酸ガス 15~20ℓ/min 	
取付け		<ul style="list-style-type: none"> ノット部に裏あて金とのすき間ができないように密着する。 逆ひずみは3~5mm。
電流・電圧	1層目: 200~250A 24~30V (前進溶接の方がよい) 2層目: " " 3層目: 150~180A 20~23V	1層目: 120~135A 19~21V 2層目: 110~130A 19~20V 3層目: 110~130A 19~20V
その他		
特に注意すること	<ul style="list-style-type: none"> ワイヤ 角度良好 (良好) 角度が悪い (偏肉になる) 	<ul style="list-style-type: none"> よく溶かす 1層目: 1~2mm程度残す 2層目: 1~2mm程度開先の角を溶かす 3層目: フラダカットに注意 <ul style="list-style-type: none"> ワイピング幅が広すぎないようにする。 1層目は特にワイピングピッチを細かくし、トーチをたてて溶融金属が先行しないように注意する。 2層目のビード高さを調整する。

- 更新試験の受験期間が次のようになっています。
更新試験の受験期間は技術資格の有効期限が切れる8ヶ月前から2ヶ月前までに試験を受けなければなりません。
- 更新試験に合格した場合は資格の登録日が現在資格の有効期限に合わせて登録されるようになっています。
- 上記期間外に受験する場合は有効期限内であっても、新規試験(学科試験免除)で基本級も受験しなければなりませんのでご注意ください。
- 更新試験と同時に新規種目も受験出来ますが、この場合は新規試験(学科試験免除)扱いとなり②の扱いは受けられません。
②の扱いを受けようとする場合は新規試験及び更新試験それぞれ試験申込書を別々にしてください。
- 登録年月日と有効期限が同じで証明書番号が異なる別々の資格を一枚の試験申込書で申し込んで受験する場合は現在のところ更新試験の扱いにはなりません。新規受験になってしまいますのでご注意ください。
更新試験の扱いを受ける場合は、申込書を別々にして下さい。
- 試験結果の発表は、毎月の15日以前の試験は翌月末の発表です。